

このニュースレターは、国土交通省が提案している羽田空港の国際線増便について、地域の皆さまとのコミュニケーションの状況を広くお知らせするために発行しています。

2020年3月29日より新飛行経路の運用を開始し、羽田空港において国際線が増便されます

首都圏の国際競争力の強化や地域と海外の交流による地域活性化、訪日外国人旅行者の受け入れ、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の円滑な開催のためには、羽田空港の機能強化・国際線増便が必要不可欠です。

このため、新飛行経路の運用等による羽田空港の機能強化については、これまで計4回の「首都圏空港機能強化の具体化に向けた協議会」において関係自治体等との協議を重ねられたとともに、住民の皆さまに丁寧な情報提供が実施されてきました。

2019年8月7日に開催された第5回の協議会においては、関係自治体等からの様々な意見や要望をしっかりと受け止め、今後も騒音・落下物対策・引き続きの丁寧な情報提供等を行う旨が、回答されました。

こうした状況を踏まえ、同年8月8日に、2020年3月29日から新飛行経路の運用を開始し、国際線を増便することが発表されました。

開催日を増やしてフェーズ6の住民説明会が開催されます

引き続き、皆さまにより多くの参加機会を設け、運用開始までのプロセスや騒音・落下物に係る追加対策等について、皆さまの疑問にお答えするオープンハウス型説明会が2019年11月～2020年1月にかけて首都圏20区市で3日間ずつ開催されます。説明会の開催日程や会場は、本ニュースレターの綴じ込みページをご覧ください。



フェーズ5 住民説明会の様子



12月17日 イトーヨーカドー大井町店（品川区）



2月8日 新宿駅西口広場イベントコーナー（新宿区）

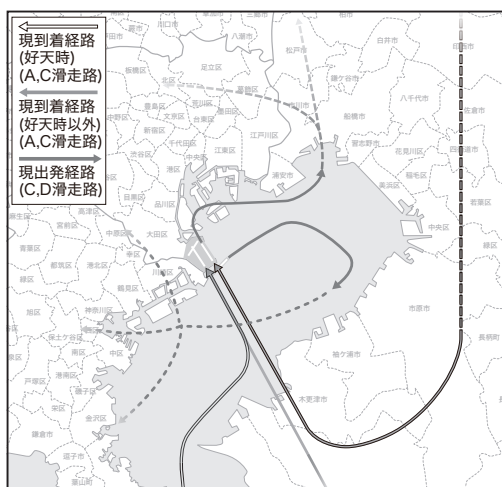
新しい飛行経路について

国際線増便に向け、様々な方策を検討した結果、羽田空港では滑走路の運用・飛行経路を見直すこと等によって、1日に約50便の増加が可能となります。

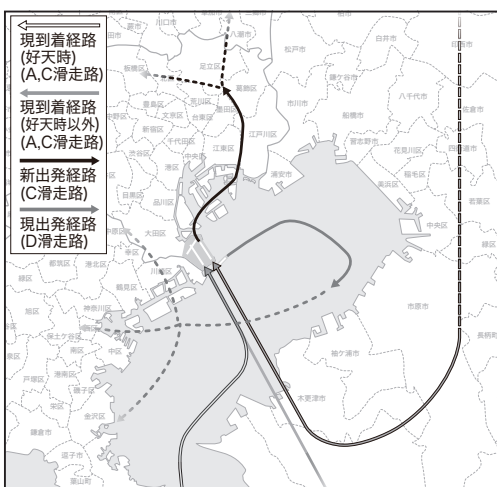
羽田空港では2020年3月29日から、新しい飛行経路が運用されます。新しい飛行経路は国際線のニーズが高い時間帯に限り運用し、それ以外の時間帯はこれまでと同じ飛行経路で運用されます。

北風運用時（北風運用の割合は約6割）

6時～23時までのうち、右記以外

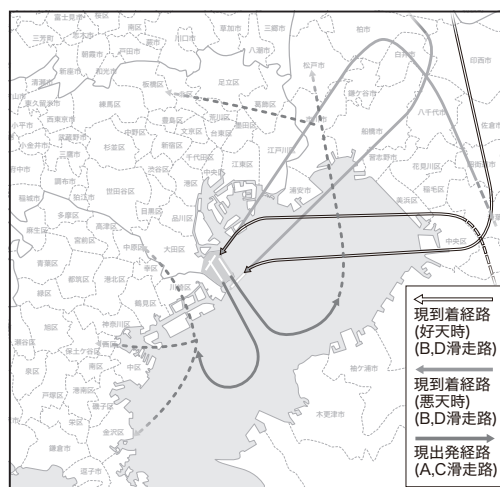


7時～11時半、15時～19時のうち3時間程度

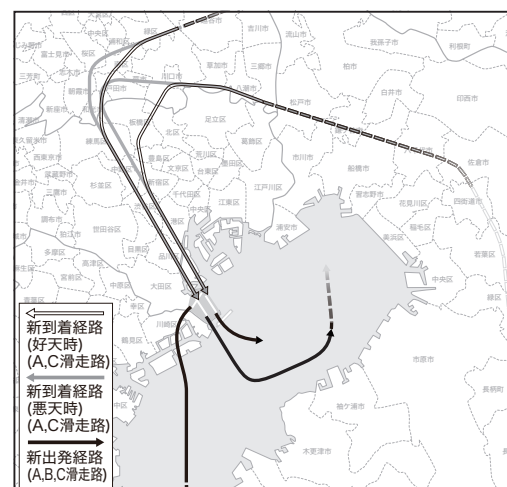


南風運用時（南風運用の割合は約4割）

6時～23時までのうち、右記以外



15時～19時のうち3時間程度





羽田空港機能強化に向けた追加対策について

説明会等で寄せられた皆さまからのご意見を踏まえ、2019年7月に羽田空港の機能強化に向けた追加対策が公表されました。低騒音機の代替促進や、着陸時における降下角度の変更など、騒音や落下物へのさらなる対策が図られます。

羽田空港における国際線の着陸料体系の見直し（再見直し）

- 羽田空港の機能強化にあたっては、さらなる騒音対策の強化を求める声が多く、低騒音機への代替促進が求められています。
- 羽田空港の国際線の着陸料体系については、2017年4月より重量と騒音の要素を組み合わせた料金体系へ見直しが行われたところですが、高騒音機材の単価をさらに引き上げ、低騒音機材の単価をさらに引き下げることによって、一層の低騒音機材の利用促進が進められます。

※騒音値の例はあくまで一例。同じ機種でも機材毎に騒音値は異なります。
 ※最大離陸重量：航空機の機種ごとに定められたその航空機の離陸時にとり得る重量の最大値。
 ※騒音値：離陸測定点と進入測定点における航空機の騒音値を相加平均して得た値。

従来（～2017年3月）

（最大離陸重量 t）× 2,400 円

現行（2017年4月～）

（最大離陸重量 t）× 2,600 円 + （騒音値－83）× 3,400 円

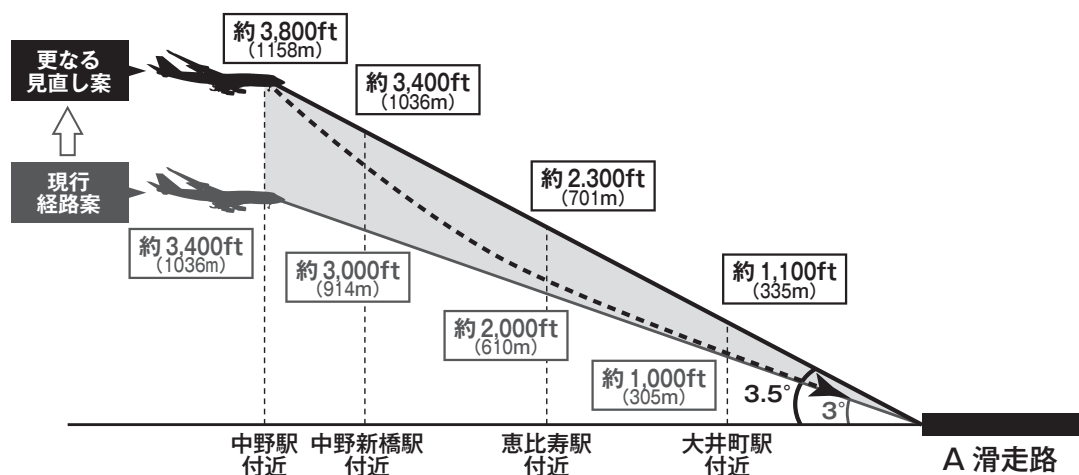
再見直し（2020年2月目途）

- ㊦ 騒音値が 98 以上 の機材（B747－8、B747－400 等）
（騒音値－83）× 6,100 円 ← 約 80% 引き上げ
- ㊦ 騒音値が 97 の機材（B777-300ER 等）
（騒音値－83）× 5,100 円 ← 50% 引き上げ
- ㊦ 騒音値が 95 以上 96 以下 の機材
（騒音値－83）× 3,400 円 ← 据え置き
- ㊦ 騒音値が 94 以下 の機材（B787－8、A350－900 等）
（騒音値－83）× 2,000 円 ← 約 40% 引き下げ

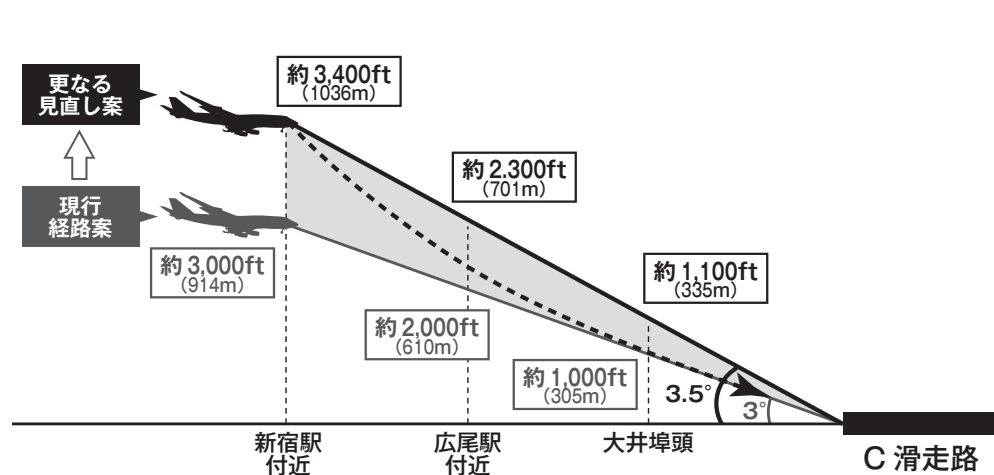
新到着経路の降下角の引き上げ

- 南風好天時の新到着経路の降下角を 3° から 3.5° にできる限り引き上げることによって、飛行高度の引き上げ、騒音影響の低減が図られます。

イメージ図（A 滑走路）



イメージ図（C 滑走路）



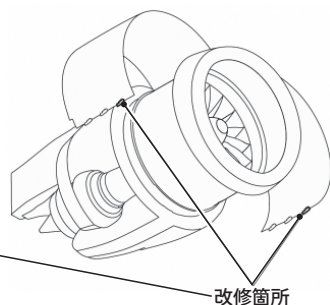
※図はあくまでイメージであり、実際の縮尺とは異なります。 ※気象条件等により、上図点線のような飛行となる場合もあります。
 ※飛行高度の引き上げを安定的に実現するため、航空保安施設の整備に関する調整が実施されます。

落下物防止対策基準の充実

- 平成 30 年 9 月に策定された部品等脱落防止措置に関する技術基準について、右記のように技術的対策を追加予定。今後も引き続き必要に応じて対策が追加されていきます。

（例 1）エンジンカウルにおける改良型固定部品への交換

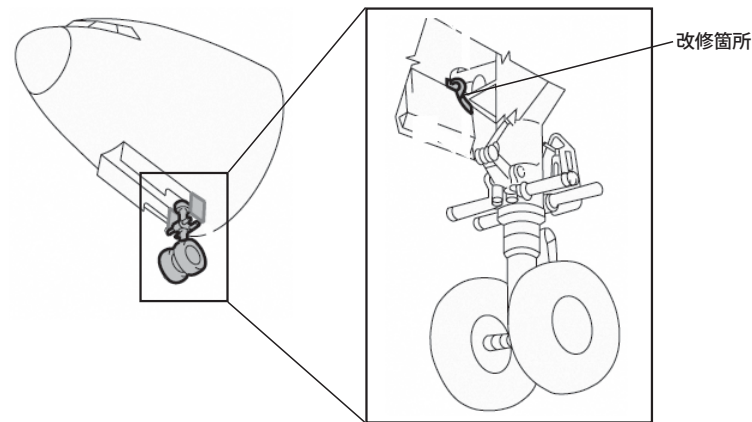
エンジンカウルの固定不良を防止するため、カウルの固定部品を改良型のものに交換



改修箇所

（例 2）主脚ドアにおける改良型固定部品への交換

主脚ドアの脱落を防止するため、ドアの固定部品を改良型のものに交換



改修箇所



✦ B滑走路西向離陸経路に関する環境影響に配慮した方策

- 新飛行経路のうちB滑走路から西向離陸する経路については、環境影響に配慮した方策をとることとし、地元自治体の要望を踏まえ、長距離国際線の制限、機材制限、騒音軽減運航方式等の導入が行われます。

騒音軽減運航方式等

■急上昇方式

フラップの揚力をできる限り活用することによって、可能な限り早く高度を確保する運航方式が導入されます。

■可能な限り早期の旋回開始

できるだけ早く旋回を開始することにより、住宅地の騒音が低減されます。

運用制限

■長距離国際線の制限

羽田空港からの距離が6,000km程度以内(おおむね東南アジア地域まで)の路線とします。ただし、当該距離制限を超える路線については、別途指定する低騒音機材に限り運航が認められます。

■機材制限

4発機(B747、A340等)が制限されます。

(参考) 2019年夏ダイヤで羽田空港に就航している国際定期路線のうち4発機(B747)を導入している路線
羽田ーシドニー(カンタス航空)、羽田ーフランクフルト(ルフトハンザ航空)、羽田ーバンコク(タイ航空)

✦ 羽田空港新着陸経路の運用にともなう教育施設等の騒音防止工事の助成について



- 教育施設等について、防音工事の補助の対象となり得る施設を特定するための調査が実施されました。
- その調査結果により、法律※に基づく学校等の騒音防止工事の補助が可能となる施設は、右記の32施設が見込まれています。補助の申請は随時受け付け、施設管理者の意向により対応されることとなっています。

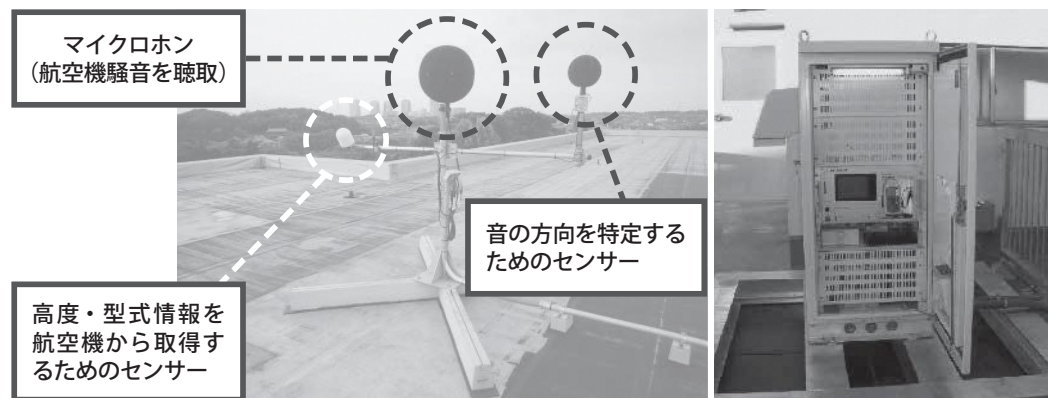
※「公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律」
※荒川出発経路については調査実施中

港 区	2 施設
品川区	24 施設
大田区	2 施設
川崎市	4 施設

✦ 騒音測定局の増設

- 騒音の実態把握や情報提供のため、航空機の騒音を常時モニタリングする騒音測定局について、既設の16局の測定局に加え、新たな飛行経路下に増設が計画されています。
- きめ細やかな情報提供に関する地元要望を受け、これまで計画されていた**新設10局の増設を16局へ**。また、ハミングバード廃止に伴い、既設16局の測定局から**2局が移設**されます。(測定局は既設16局から32局へ)。
- 設置箇所について、現行飛行経路並の広範な地域への対応及び好天時と悪天時の両飛行経路の設定等を考慮し、**東京都内の13区、川崎市、さいたま市及び川口市に設置**されます。

騒音測定局（屋上設置イメージ）



新飛行経路の運用開始後は、設置した騒音測定局を用いて航空機の騒音を常時モニタリング

飛行コース公開ホームページ等での公開や自治体の求めに応じるなどにより、**測定された騒音の状況を情報提供**

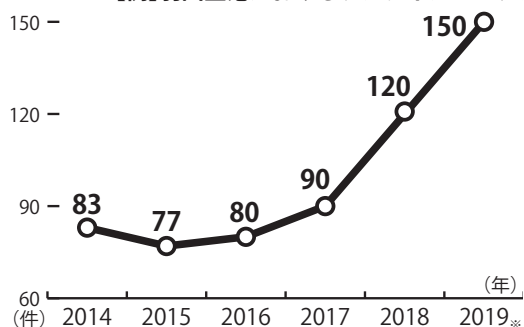
✦ 落下物対策に関する情報提供の充実

- 落下物対策に関する取り組みについて、ホームページ等を通じて定期的に情報提供が行われます。

駐機中の機体チェック・ランプインスペクションの取組状況

駐機中の機体チェック等の取組状況について情報提供されます。

【例】羽田空港におけるランプインスペクション件数の推移



※ランプインスペクション：わが国に乗り入れている外国航空機に対する立入検査
※2019年度のランプインスペクション件数は計画値

航空会社の取組状況

落下物防止に向けた航空会社の取組状況について情報提供されます。

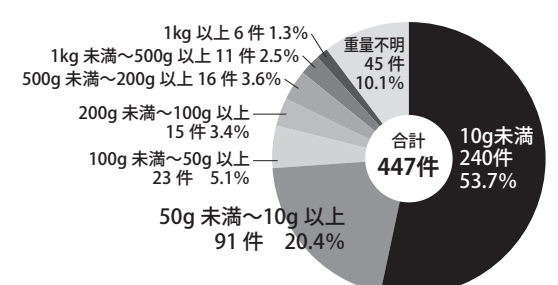
【例】脱落しやすい部品のポスター掲示による整備士等への注意喚起



落下物・部品欠落の件数等

落下物・部品欠落の件数等について情報提供されます。

【例】部品欠落の発生状況



※部品欠落：空港到着後の機体チェック等で部品が無くなっていることが確認されたもの。
落下物：落下した部品または氷塊が空港以外の場所で発見されたもの。
※2017年11月の制度拡充から2018年10月末の間で報告された欠落部品の総計。

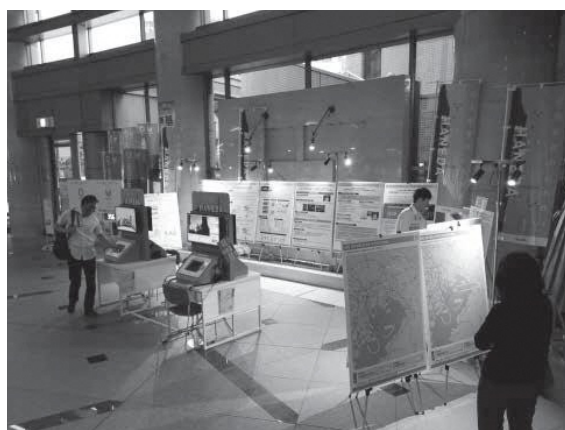


フェーズ5の説明会が開催されました

「羽田空港のこれから」のフェーズ5の取り組みとして、2018年12月から2019年2月までの間、首都圏31会場で説明会が開催されました。会場には、航空機の音や見え方を確認できる体験コーナーを設置。参加した皆さまからは、騒音や落下物への配慮や具体的な対策を求めるご意見とともに、羽田空港の利便性向上に期待する声も寄せられました。フェーズ5で寄せられた意見要旨（案）の全容は、本ニュースレターの綴じ込みページをご参照ください。

情報発信拠点が開設されています

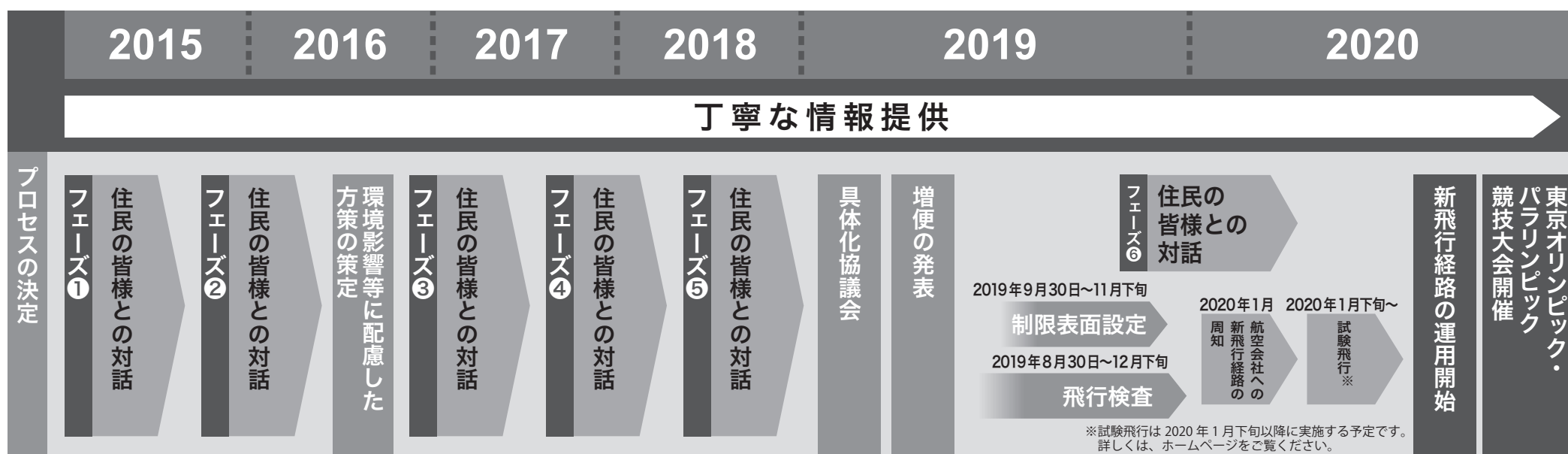
羽田空港第1ターミナルに設置されている常設の情報発信拠点に加え、2019年8月から都営浅草線五反田駅構内に常設の情報発信拠点が開設されました。また、移動型の情報発信拠点も各市区にて順次開設されています。情報発信拠点では、動画やタブレット端末で羽田空港機能強化の取り組み状況に関する情報が確認できる他、離着陸の音を体験することができます。開設場所や期間などはホームページをご覧ください。



練馬区に開設された移動型の情報発信拠点の様子[2019年9月2日(月)～9月7日(土)に開設]

これまでと今後の進め方

今後も2020年までの新飛行経路運航開始までの間、住民説明会の開催等を通じて丁寧な情報提供が行われます。



様々な方法で情報提供が行われています

■ ホームページから

<http://www.mlit.go.jp/koku/haneda/>

羽田空港のこれから 検索



ご意見フォームから
直接投稿できます。



■ 情報発信拠点から

羽田空港第1ターミナルの他、2019年8月から都営浅草線五反田駅構内に常設の情報発信拠点が開設されています。また、各地でも移動型情報発信拠点の展示が行われています。



■ 電話でのご意見は

Tel 0570-001-160

(IP電話からは、03-5908-2420)

『国土交通省
「羽田空港のこれから」に
関するご意見窓口』
受付時間：平日9:30～19:00



■ ホームページに掲載されているバックナンバー

※パンフレット、FAQ、パネル等もホームページに掲載されています



ニュースレター
創刊号



ニュースレター
第2号



ニュースレター
第3号



ニュースレター
第4号



ニュースレター
第5号



ニュースレター
第6号



ニュースレター
第7号



ニュースレター
第8号



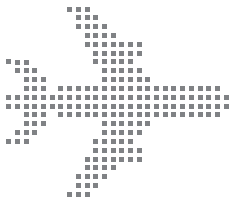
ニュースレター
第9号



ニュースレター
第10号



ニュースレター
第11号



フェーズ6の 住民説明会開催スケジュール

皆さまにより多くの参加機会を設け、運用開始までのプロセスや騒音・落下物に係る追加対策等について、皆さまの疑問にお答えするオープンハウス型説明会が2019年11月～2020年1月にかけて首都圏20区市で3日間ずつ開催されます。



市区	開催日	時間	会場
練馬区	11/18 (月)	16:00～19:00	練馬区役所 1階 アトリウム
	11/19 (火)	14:00～17:00	練馬区役所 1階 アトリウム
	1/18 (土)	14:00～17:00	光が丘区民センター 2階 集会洋室
品川区	11/22 (金)	17:00～20:00	品川シーサイドフォレスト オーバルガーデン1階
	11/23 (土・祝)	14:00～17:00	品川シーサイドフォレスト オーバルガーデン1階
	12/2 (月)	14:00～17:00	きゅりあん 7階 イベントホール A・B 区分
和光市	11/24 (日)	14:00～17:00	和光市吹上コミュニティセンター 多目的ホール
	11/28 (木)	14:00～17:00	和光市中央公民館 エントランス
	11/29 (金)	17:00～20:00	和光市中央公民館 エントランス
新宿区	12/1 (日)	14:00～17:00	新宿駅西口広場イベントコーナー B1
	12/2 (月)	17:00～20:00	新宿駅西口広場イベントコーナー B1
	12/3 (火)	14:00～17:00	新宿駅西口広場イベントコーナー B1
江戸川区	12/5 (木)	17:00～20:00	清新町コミュニティ会館 ホール
	12/13 (金)	13:00～16:00	小松川区民館 2階 ロビー
	1/18 (土)	14:00～17:00	タワーホール船堀 1階 アトリウム
江東区	12/8 (日)	14:00～17:00	アリオ北砂 1階 アクアコート
	12/9 (月)	17:00～20:00	アリオ北砂 1階 アクアコート
	12/10 (火)	17:00～20:00	アリオ北砂 1階 アクアコート
戸田市	12/14 (土)	14:00～17:00	笹目コミュニティセンター (コンパル) 1階 ホワイエ
	12/17 (火)	14:00～17:00	イオンモール北戸田 1階 セントラルコート
	12/18 (水)	17:00～20:00	イオンモール北戸田 1階 セントラルコート
北区	12/15 (日)	14:00～17:00	赤羽北ふれあい館 第1ホールA・B
	12/16 (月)	17:00～20:00	赤羽北ふれあい館 第1ホールA・B
	12/17 (火)	17:00～20:00	北とぴあ地下1階 展示ホール
中野区	12/18 (水)	14:00～17:00	弥生区民活動センター 洋室3・4・5
	12/19 (木)	17:00～20:00	野方区民活動センター ギャラリーA・B
	12/21 (土)	14:00～17:00	なかのZERO 西館1階

市区	日時	時間	会場
川口市	12/22（日）	14:00～17:00	キュポ・ラ 本館棟5階 中央図書館前ロビー
	12/23（月）	17:00～20:00	キュポ・ラ 本館棟5階 中央図書館前ロビー
	12/24（火）	14:00～17:00	キュポ・ラ 本館棟5階 中央図書館前ロビー
渋谷区	12/23（月）	17:00～20:00	地域交流センター恵比寿 地下1階 コミュニティホール
	12/25（水）	17:00～20:00	千駄ヶ谷社会教育館 地下1階 体育室兼音楽室
	1/11（土）	14:00～17:00	渋谷ヒカリエ 8/court
豊島区	1/8（水）	17:00～20:00	豊島区役所本庁舎 1階 としまセンタースクエア
	1/13（月・祝）	14:00～17:00	千早地域文化創造館 多目的ホール（体育館）
	1/14（火）	14:00～17:00	豊島区役所本庁舎 1階 としまセンタースクエア
蕨市	1/9（木）	14:00～17:00	イトーヨーカドー錦町店 1階 行政コーナー
	1/10（金）	17:00～20:00	イトーヨーカドー錦町店 1階 行政コーナー
	1/11（土）	14:00～17:00	イトーヨーカドー錦町店 1階 行政コーナー
港区	1/12（日）	14:00～17:00	みなとパーク芝浦 1階 リーブラホール
	1/21（火）	17:00～20:00	六本木ヒルズ ウェストウォーク2階 南側吹抜けスペース
	1/22（水）	14:00～17:00	六本木ヒルズ ウェストウォーク2階 南側吹抜けスペース
板橋区	1/13（月・祝）	14:00～17:00	セブントウン小豆沢 イベントスペースA・D
	1/14（火）	14:00～17:00	セブントウン小豆沢 イベントスペースA・D
	1/15（水）	17:00～20:00	成増アクトホール
目黒区	1/16（木）	17:00～20:00	恵比寿ガーデンプレイス ザ・ガーデンルーム
	1/17（金）	14:00～17:00	目黒区民センター 4階 勤労福祉会館サークル室
	1/19（日）	14:00～17:00	恵比寿ガーデンプレイス ザ・ガーデンルーム
さいたま市	1/19（日）	14:00～17:00	サウスピア 1階 多目的室
	1/20（月）	14:00～17:00	サウスピア 1階 多目的室
	1/21（火）	17:00～20:00	サウスピア 1階 多目的室
大田区	1/22（水）	17:00～20:00	大田区萩中集会所 地下1階集会室
	1/26（日）	14:00～17:00	京急蒲田駅 改札口外コンコース
	1/27（月）	17:00～20:00	京急蒲田駅 改札口外コンコース
川崎市	1/23（木）	16:30～19:30	川崎生命科学・環境研究センター（ライズ）1階 会議室
	1/24（金）	14:00～17:00	川崎区役所大師支所 2階 会議室
	1/25（土）	14:00～17:00	殿町小学校 体育館
朝霞市	1/23（木）	14:00～17:00	朝霞市中央公民館 1階 コミュニティセンター
	1/24（金）	17:00～20:00	朝霞市中央公民館 1階 コミュニティセンター
	1/25（土）	14:00～17:00	朝霞市中央公民館 1階 コミュニティセンター

皆さまから寄せられたご意見

～意見要旨(案)～

フェーズ5において多様なご意見が寄せられました

フェーズ5の住民説明会（平成30年12月15日～平成31年2月23日）で寄せられたご意見、「羽田空港のこれから」ホームページからのご意見、特設電話窓口からのご意見など、令和元年6月30日までに頂いたご意見を対象としました。

【ご意見の整理方法】 意見要旨は、寄せられたご意見から皆さまの関心事に着目して整理し、国土交通省が受け取った内容を取りまとめたものです。少数の意見であっても配慮すべき関心事にはしっかり着目する必要があるため、意見の多寡にとらわれず整理しています。意見要旨をご覧になり、重要な意見が漏れているとお感じの方は、ホームページや特設電話窓口、説明会にて是非ご意見をお寄せください。なお、ご意見の取りまとめについては精査中です。

○の意見要旨：フェーズ5で新たに見られた意見要旨
その他の要旨中の下線部：フェーズ5の意見要旨に変更・細分化された部分

1. 羽田空港国際線増便の必要性和実現方策

羽田空港国際線増便の必要性

【国際競争力の強化】

- 国際競争力、都市機能の向上やグローバル化に向けて、羽田空港の機能強化に期待している。
- 国際ハブ空港を目指して発展して欲しい。
- 騒音や安全性への懸念などにより、むしろ首都圏の競争力・魅力が低下するのではないかと。

【経済活性化、ビジネス機会、就労機会】

- 経済発展のためには羽田空港の機能強化は必要だと思う。
- 住民の生活よりも経済を優先させる計画には納得がいかない。
- 羽田空港の国際線が充実することで、ビジネスの機会が創出されることを期待している。
- 増便による羽田空港関連の雇用増を期待する。

【地方活性化、ビジネス機会、就労機会】

- 首都圏だけでなく地方の活性化のために、羽田空港の機能強化は重要だ。
- 利便性が上がっても、羽田空港周辺の地域にはメリットが感じられない。
- 地方活性化を目指すのならば、直接地方空港を活用すべきではないか。

【観光、インバウンド】

- 訪日旅行者数の増加が期待できる。
- 訪日旅行者数の増加に対応するため羽田空港の機能強化は必要だ。
- 訪日旅行者数の動向にはリスクがある。需要や伸びを過剰に見積もっているのではないかと。
- 訪日旅行者数の増加や利便性向上よりも、住民の生活環境を重視してほしい。

【海外渡航の利便性（アウトバウンド）】

- 海外への渡航がより便利になり、海外旅行等の機会が増える。

【オリンピック・パラリンピックとの関連】

- 東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて機能強化は重要である。
- 東京オリンピック・パラリンピック大会を理由に機能強化することは疑問である。
- 増便するのは東京オリンピック・パラリンピック大会期間限定にしてほしい。
- オリンピック・パラリンピック開催時の騒音影響により、競技に支障がでるのではないかと。

【人口減少】

- 人口が減少し需要が下がっていくのに、増便をする意味があるのか疑問だ。
- 人口減少時代を迎え、外国との人の往来を増やすことは重要だ。

【成田空港との連携・住み分け】

- 羽田空港だけでなく、成田空港の機能強化も検討してほしい。
- 羽田空港の機能を強化しなくても、更なる増便やアクセス改善等により成田空港をもっと活用すれば十分ではないか。
- 羽田空港と成田空港との機能分担を踏まえた検討が必要ではないか。
- 成田空港だけでなく、羽田空港にもLCCを多く就航させてほしい。
- 羽田空港と成田空港とが一体的に運用することを考えた上で、機能強化の方法を検討する必要がある。
- 成田空港と連携するため、羽田・成田間の交通アクセスを良くしてほしい。

【他空港との連携、機能分散等】

- 羽田空港の機能強化と併せて、他の空港を活用する必要がある。
- 羽田空港は既に過密状態で、これ以上の発着回数の増加は難しいのではないかと。

- 羽田空港のみに集中させず、周辺の地方空港を活用してほしい。

【新空港の建設】

- 羽田空港の機能強化ではなく、首都圏に新たな空港を建設すべきだ。

【横田基地等の活用】

- 横田や厚木などの基地を活用する方法は考えられないのか。

【新幹線や船舶などの交通モード活用による機能分散】

- 国内移動は飛行機だけでなく新幹線、船舶などの他の交通手段を活用して、分担すれば良いのではないかと。

【今後の更なる機能強化への期待】

- 将来的には今回の提案以上に便数を増やし、さらなる機能強化をはかってほしい。
- 深夜・早朝時間帯などにもさらに活用してほしい。

【その他】

- 機能強化だけではなく、規制緩和などにも取り組まないと、発展には結びつかないのではないかと。

羽田空港国際線増便の実現方策

【飛行経路・滑走路運用・空域等の変更】

- 新飛行経路案以外の経路はないのか。
- なぜこのような新飛行経路が提案されているのかは理解できた。引き続き、影響を軽減するための方策を検討してほしい。
- 説明を聞いても、やはり住宅密集地上空の飛行には納得できない。
- できるだけ地域への影響を小さくするような実現方策の検討、配慮をしてほしい。
- 南風案1と言われる技術的選択肢の方が望ましいのではないかと。
- 図示されている飛行経路から外れて飛ばないかが心配だ。
- 新飛行経路の検討において、横田空域の影響を受けているのではないかと。空域の変更や拡大などにより、多様な経路が検討できるのではないかと。
- 新飛行経路案は横田空域を通過する案となっているため、経路として使用できないのではないかと。
- 他の時間帯を活用すれば、新飛行経路を使わなくてもよいのではないかと。
- 機体の大型化を進めれば、新飛行経路を使わなくてもよいのではないかと。
- D滑走路をもっと活用してほしい。

【滑走路増設】

- 抜本的な課題解決のためには、新たな滑走路増設とそれに合わせた飛行経路見直しの検討が必要ではないかと。
- 滑走路を増設すれば、飛行経路の見直しは不要ではないかと。

【国際線と国内線の枠のバランス】

- 需要に応じて国内線と国際線のバランスをとっていくことが重要。
- 国内線の便数も増やしてほしい。
- 国内線の便数を減らして、それで国際線を増やせばよいのではないかと。

【その他】

- 国際線について、いきなり6万回から9.9万回まで増やすのではなく、段階的に増やしても良いのではないかと。
- これまで沖合展開などで騒音軽減を図ってきた歴史に逆行するのではないかと。
- この提案でも国際線はそこまで増えない。根本的な解決にならない。
- 国際線増便後の航空会社への発着枠の配分方法について、よく検討してほしい。

提案方策に関わる心配、懸念

【音】

- 朝早い時間や夜遅い時間の発着による騒音が心配だ。
- 騒音が気になる。
- 大型機による騒音が心配だ。
- 住宅地やオフィス街に飛行するので、騒音影響が心配だ。
- 学校や医療機関、研究施設への影響が心配だ。
- 騒音による動物への影響が心配だ。
- 病人や乳幼児、障がい者等の弱者への影響が心配だ。
- 今までなかった騒音が発生し、生活環境が大きく変わるのではないかと心配だ。
- 高速道路や飛行機などによる現状の騒音に、新飛行経路による飛行機の騒音が加わることで生活環境が更に悪化するのではないかと。
- 新飛行経路を飛行する頻度が多いのが気になる。
- 騒音などの影響はある程度はやむを得ないのではないかと。
- 騒音などの影響はあまり気にならないのではないかと。
- 説明を聞いて、自分が住んでいる地域への音の影響がよく理解できた。
- 説明会で体験した音が思っていた以上に小さかった/大きかった。
- 屋内であれば安心できることが分かった。

- ピーク時の着陸料金を上げることで、国際線需要の分散をはかってほしい。

【飛行経路】

- 騒音や安全性を考えれば、海や川の上など、できる限り住宅地や公共施設を避けた飛行経路とすべき。
- 飛行経路のプレを少なくしてほしい。
- 決められた飛行経路を遵守し外れることのないようにしてほしい。
- 飛行経路の設定・運用に当たっては、経路の分散も含めて、騒音負担の公平性を考慮してほしい。
- 都心部への騒音影響がより小さい北風運用を優先的に使ってほしい。
- 着陸時の直線進入区間が長すぎる。もっと空港の近くで旋回するようにしてほしい。

【その他】

- 現在の滑走路の向きを変えれば、陸上への影響を少なくできるのではないかと。
- 新飛行経路の運用効率が良いのであれば、運用時間を増やしてほしい。

環境上の方策、その他の周辺対策に関すること

【騒音対策、その他の周辺対策】

- 防音が不十分な建物にも配慮してほしい。
- 今回の提案によって、現飛行経路の騒音がどう変わっていくのか知りたい。
- 機密性の低い建物への騒音影響が心配だ。
- 高層ビルの高さや地形によって音の聞こえ方が違うと思うので考慮してほしい。
- A滑走路とC滑走路に同時に着陸する場合、挟まれた地域は音の影響がより大きくなるのではないかと心配だ。

【その他の環境影響】

- 発着回数の増加による大気汚染や自然環境の悪化が心配だ。

【安全】

- 新飛行経路は人の多い街中や住宅地を低空で飛行するので、事故によるリスクが高いのではないかと。
- 旅客機の飛行により、小型機やヘリの飛行に制約が生じ、墜落事故が起きないかと心配だ。
- 工業地帯の上を通過するのはリスクが大きいのではないかと。
- 野鳥や渡り鳥などによりバードストライクが起きないかと心配だ。
- 飛行機同士が衝突する事故が起きないかと心配だ。
- 増便や時間帯により経路を切り替えることで管制官やパイロットの負担が増し、安全面への影響が出ないかと心配だ。
- パイロット不足により安全運航に影響が出ないかと心配だ。
- 悪天候時や自然災害時などの安全確保が心配だ。
- 安全確保や騒音対策が講じられるので、新飛行経路になっても心配はしていない。
- 新飛行経路の着陸はレーダーで誘導されて直線進入するので、管制官やパイロットの負担は軽減されるのではないかと。
- パイロットの生活管理が不十分のために、安全運航に支障が出るのではないかと心配だ。

【落下物】

- 飛行機からの落下物により被害が生じないかと心配だ。

【漠然とした不安】

- 飛行機が低空を通過することに、圧迫感や不安、ストレスを感じる。

【不動産価値への影響】

- 住環境が悪化することで不動産の価値が下がったり、入居者が減少することを懸念している。
- 人口減少社会の中で、不動産価値を維持するためには、交流人口の増加につながる羽田空港の国際線増便が重要だ。

【関連施設の混雑】

- 国際線が増便されても国際線ターミナル施設や空港設備、アクセス機能が拡張されないと、混雑や利便性の低下が懸念される。

【将来的な影響拡大への懸念】

- 将来的には運用時間帯が拡大されたり、発着回数の増加や更なる飛行経路の設定がされるのではないかと不安である。

【高さ制限】

- 経路下の建築物が高さ制限を受けるのではないかと。

【一般的懸念】

- 国際線の増便は必要だと思うが、騒音や安全性には気をつけてほしい。

【その他】

- 航空機による振動が心配だ。
- 通信や電波障害などが心配だ。
- 健康影響が心配だ。
- 人の往来が増えることによる治安の悪化が心配だ。
- 飛行機がテロの標的とならないかと心配だ。
- ヘリコプターの運用などに影響はあるのか。
- 他空港の事例から見ても、飛行機が飛ぶことにはやがて慣れていくのではないかと。

賛否のみの意見（必要性、実現方策）

- 羽田空港の機能強化し、国際線を増便することに期待する。
- 提案された飛行経路には反対だ。

2. 課題への対応方策（対策や運用方法の工夫等）

運用方法に関すること

【高度】

- 離着陸時の飛行高度が少しでも高くなるようにしてほしい。
- 影響の大きい離陸機について、旋回開始のタイミングを見直すなど、住宅地上空飛行をできる限り避ける工夫を検討してほしい。
- 飛行高度の見直しを行うのであれば安全にも十分配慮してほしい。
- 高度の引き上げなど、音の影響を小さくするための方策の検討を続けてほしい。
- 高度を引き上げる方策について、空港周辺では高度・音の影響は変わらないのではないかと。

【運用時間】

- 北風時新飛行経路の朝の運用はもっと遅い時間からにしてほしい。
- 新飛行経路の運用時間を短くしてほしい。
- 新飛行経路の午後の運用は夕方に限定し、夜遅くまで運用するのはやめてほしい。
- 新飛行経路の運用時間や便数を厳守してほしい。

【便数】

- 新飛行経路の運航便数（頻度）が多すぎるので、できる限り減らしてほしい。

- 騒音への対策をしっかりとしてほしい。
- 騒音の状況に応じて、防音サッシの設置などによる防音工事をしたり、費用の補助をしてほしい。
- 学校活動や病院などの医療活動への影響に配慮してほしい。
- 現在の制度にとらわれず、税の減免や補償金の支払いなどをお願したい。
- 新飛行経路による健康被害や経済的負担について補償してほしい。
- 同じ地域内で防音工事や補償がされる人とされない人がいると不公平感が生まれ、地域が分断されてしまうのが心配だ。
- 騒音などの状況を踏まえて、補助する対象地域を広げてほしい。
- 法律でできない防音対策は、国と自治体が一緒になって検討してほしい。
- まちづくりや集会所の整備など、何らかの地元へのメリットを示してほしい。
- 騒音等の被害により生活しづらさを得ない場合には、移転補償を行ってほしい。
- 不動産価値が低下した場合、補償をしてほしい。
- 対策に税金を使うのではなく、増便による受益者や利用者に負担を求め、影響を受ける地区にしっかり還元してほしい。
- 不動産価値への影響を調査したり、資産価値を維持するための方策も合わせて検討してほしい。
- 24時間平均で飛行機の騒音を評価する環境基準の考え方はおかしいのではないかと。

- い。
 - 防音工事はどのような施設が対象となるか示してほしい。
- 【機体】
- 飛行機から発生する騒音をより小さく抑える方策を検討してほしい。
 - 騒音を抑制するために、大型機の制限を検討してほしい。
 - より静かな機体の導入をぜひ進めてほしい。
 - 騒音の大きさに応じて空港使用料に差をつけるのはよいと思う。
 - 静かな機体やエンジンの開発に国としても力を入れてほしい。
 - 低騒音機の導入は航空会社次第なので、長期的にはともかく、即座に効果のある対策として期待できない。
- 【現飛行経路の騒音対策】
- 現飛行経路の騒音対策がなされないまま、新飛行経路が計画されるのは納得がいかない。
 - 現飛行経路の騒音対策を更に講じてほしい。
 - 現飛行経路について、早朝や夜間の騒音負担を減らしてほしい。
 - 現飛行経路（特に悪天時飛行経路）について、緊急時の23時以降の到着をできるだけ少なくしてほしい。
 - 新飛行経路と合わせて、現飛行経路や運用時間も見直してほしい。
 - 新飛行経路の運用が干渉の負担を軽減するとは思えない。
- 【その他】
- ヘリコプターや軍用機などの騒音が大きい。安全性も心配だ。
 - 音というよりも省エネ・環境保全の観点から、住宅の二重窓助成ができないか。それが結果的に防音にもつながる。
 - 現在提示されている騒音や落下物への対策だけでは不十分なので、更に検討し、具体策を示してほしい。

安全上の方策に関すること

【安全対策の確実な実施】

- 万が一の事故もないよう、安全基準や運用の徹底をお願いしたい。
- 事故が起きないように、万全の対策を講じてほしい。

【各分野の安全対策（機体、航空従事者、管制・空港など）】

- 機体整備やパイロットの定期的なチェックをより厳しくする必要がある。
- 外国の航空会社に対しても、国内航空会社と同等の安全監督を実施してほしい。
- 基準を満たさない外国の航空会社などは乗り入れを制限してほしい。
- 発着回数の増加に対応できるよう管制機能を強化する必要がある。

3. 進め方（全体）

検討の進め方（動機、計画期間、決定主体等）

【提案の動機】

- 説明を聞いても、国際線の増便が必要となる理由が理解できない。
- 2020年までという短期的な視点ではなく、もっと長期的なビジョンを持って検討してほしい。

【検討期間、計画決定時期】

- 新飛行経路の開始時期はいつか。
- 新飛行経路が決定するのはいつか。
- 飛ばすことを決める前にこういう説明会をやるのは大変良い。
- 計画検討に時間をかけ過ぎではないか。国際線増便をできるだけ早く実現してほしい。
- 計画の検討にもっと時間をかけるべきではないか。

【決定主体】

- 最終的な決定主体、決定方法をより明確に示してほしい。
- 国が決定するのではなく、住民投票などにより決定すべきではないか。
- 経路下の自治体の役割を明確にして、行政間の連携を図りながら検討を進めてほしい。
- 国がしっかりと検討し、決定していくべきだ。
- 国土交通省のみで検討決定するのではなく、政府全体で検討すべきである。
- 自治体等の同意が得られていない中で、国が計画を進めようとしているのではないかと心配だ。

【どこまで決まっているのか】

- 提案は既に決定した事項か。経路の変更はあり得るのか。
- 既に新飛行経路での運航が開始されているではないか。

【継続的なコミュニケーション】

- 今後も、継続的に説明会や対話の機会を設けてほしい。

検討の進め方（プロセス）

【透明性】

- 計画内容を決定する際の検討内容、意見のまとめ方や住民対話の進捗状況について積極的に公表してほしい。
- 住民からの意見を行政内部でしっかりと共有してほしい。
- 意見や主な質問に対する回答は、ホームページやニュースレター等を通じて幅広く共有してほしい。
- 新飛行経路検討のプロセスや進捗状況を明確に示してほしい。
- 計画が決定した際、どのように公表するかを教えてください。

【公正性】

- メリットとデメリットの両面について、客観的で公正性のある情報を示してほしい。
- 寄せられた意見について、航空の専門家や有識者などの第三者の見解も聞いて検討してほしい。
- 説明資料などで提供される情報やデータなどが意図的なものに感じられる。

【受益と負担、公益性等のバランス】

- 国全体の利益に加え、日常生活に影響のある人のことも考えて、慎重に検討を進めてほしい。
- 飛行経路をできるだけ分散させて、特定の地域のみが負担を負わないようにしてほしい。
- 広範囲にメリットがもたらされるとしても、負担は飛行経路下の一部の住民に集中するのは不公平だ。
- 多くの人が負担を強いられる一方で、国際線増便のメリットは一部のの人にしか及ばないのではないか。
- これまで既に飛行機の騒音に悩まされてきた地区の住民に、更に負担を強いるのは問題だ。
- 一部の住民の都合で反対しても、地域工になってしまうのではないか。
- 現在も千葉県ばかりが負担を負っているのは不公平なので、新たな飛行経路にもっと分散してほしい。

【合理性】

- メリットに比べてデメリットのほうが大きいのではないか。増便に伴うコストと便益を比較して判断してほしい。
- 様々な案を検討してきた結果の提案とのことだが、複数の選択肢を同時に示すべきではないか。
- 現場のパイロットや管制官の意見も参考にすることがよい。
- 航空のプロがしっかり考えた上で、最善の案を採用してほしい。

- 安全性の向上のために、パイロットや管制官等の教育や心身の健康検査を徹底してほしい。
- 安全性に疑問があるため、LCCの発着数は増えてほしくない。
- 防災対策も含めて、より安全で安心できる空港運用を行ってほしい。

【落下物対策】

- 落下物対策をしっかり行してほしい。
- 車輪を降ろす際に落下物が生じることがあると聞いている。車輪を降ろす際のルールを決めておく必要があるのではないか。
- 落下物や騒音対策をと言われるけれども防ぎきれないと思うので、不安の解消にならない。
- 氷塊などの飛行機からの落下物だと特定しづらいものによる被害に対しても、補償を検討してほしい。

【万が一の場合の対応】

- 事故・トラブルが発生した場合にどう対処するのか、被害を最小限にできるようにしてほしい。
- 事故が起きた場合の責任の所在を明確にほしい。飛行経路を定めた国にも責任があることを肝に銘じてほしい。
- 事故が起きた場合の補償が、確実になされるようにしてほしい。
- 落下物により被害を受けた場合に、対応や補償がしっかりとされる様にしてほしい。

【保安対策等】

- テロやハイジャック等の対策を強化する必要がある。
- 海外からの来訪者が増えることで治安が悪化しないよう、対策をしっかり行してほしい。

【その他】

- バードストライクに対する安全対策を徹底してほしい。
- 事故が起きた際の処罰制度の確立や厳罰化、事故情報の公開などを行い、安全を確保してほしい。

情報・相談窓口に関すること

【モニタリング・飛行情報】

- 時間帯や場所を考慮して騒音を測定し、生活への影響を十分に調査してほしい。
- 飛行状況をしっかりとモニタリングし、高度やルートを遵守するようにしてほしい。
- 新飛行経路運用開始後も継続的なモニタリングをして、環境の変化を調査してほしい。
- 最近飛行機が上空を飛んでいるのを目にする機会が多くなったように思う。既に

コミュニケーション方法

【周知】

- 今回の提案について、もっと多くの人に周知すべきである。
- インターネットや広報紙、メディアの活用など、様々な手段を使い、説明会の周知を図る工夫が必要ではないか。
- 関連自治体との広報における協力体制を整え、周知を図ってほしい。
- 会場名だけではわかりにくいので、説明会場所の詳しい説明が必要だ。

【説明会の開催場所・日時・回数】

- よりきめ細かく開催してほしい。影響があるのに説明会が近隣で開催されない地区がある。
- よりアクセスが良く、よりスペースが広い会場で開催してほしい。
- 説明会の回数を増やし、時間帯の延長や週末開催なども行って、より多くの人が参加できるようにしてほしい。

【意見の反映】

- 住民の意見をしっかりと聞き、反映して決めてほしい。
- 説明会や意見収集等は、アライバ作りではないのか。

【説明や対話の手法】

- 機能強化の必要性や実現方策が理解でき、意見や質問が個別に言えるので、このような説明会が開催されるのは良いことだ。
- 第1フェーズの説明会に比べて情報量が増え、内容も充実していると思う。
- 丁寧に住民説明、意見聴取を行い、不安の払拭に努めてほしい。
- 今回の説明を聞いて不安が解消し安心した。
- 住民間で意見共有がしにくい。集会型、教室型の説明会も開催してほしい。
- パネル展示型の説明会だけでなく、多様なコミュニケーション方法での対話等を更に充実してほしい。
- ホームページのコンテンツを更に充実させ、更新の頻度も高めてほしい。
- 画像が表示されないなど、ホームページに不具合があるので改善してほしい。
- 地域説明会の時間が短いのではないか。

【その他】

- 職員の対応が丁寧で良かった。
- 質問に対して的確な回答が得られるように、知識と責任がある人に対応してほしい。
- 意見を聞くだけでなく、質問に回答する場や決定内容を報告する場を設けてほしい。
- 実際に体験しないと影響がわからないので、試験飛行（テスト飛行）を実施した上で意見を聞いてほしい。
- 特設電話窓口について、ナビダイヤルではなくフリーダイヤルにしてほしい。
- 意見要旨が恣意的なものであってはならない。
- 不動産物件の紹介時に示せる資料があるとよい。
- 試験飛行をすれば、騒音の影響はさほどないことがわかり、不安が解消されるのではないかと。
- 音を確認したくて説明会に来ているので、待ち時間が少なくなるように音の体感コーナーを増やしてほしい。
- 羽田空港の実感がわかる見学会や離発着を体験視察できるツアー等を開催してほしい。
- 説明会に行けずインターネットも使えない住民でも情報が得られるようにほしい。

情報提供

【更なる情報提供】

- 機能強化における新飛行経路の必要性をより詳しく説明することが重要である。
- 現飛行経路に関するより詳しい情報がほしい。
- 騒音の範囲や想定値を、より詳細に示してほしい。
- 音や経路、高度などについて、現在示されているものよりももっと細かい地域別の詳細情報があると良い。
- 騒音や安全対策などの説明を更に充実してほしい。
- 天候や風向きによる運用割合、時間帯、飛行回数などの詳細な情報がほしい。
- 安全性に対する不安を払拭できるようなデータを示してほしい。
- 説明資料で示されているデータの算出根拠を教えてください。
- 事故発生や被害想定などリスクに関するデータや、万が一の事故時の対応を教えてください。
- 都市上空を飛行経路とする他都市の事例について、飛行状況や周辺対策などを合わせて教えてください。
- 機能強化にかかる費用などを教えてください。
- 新飛行経路の影響を調査して示してもらわないと納得できない。
- 最近の飛行機は安全性や静粛性が高まっているし、ましてや戦闘機とは状況が

試験飛行を行っているのではないかと。

- 飛行経路や運用情報をHP等でわかりやすく示してほしい。
- 落下物や機体の不具合などが生じた場合、周辺住民に速やかに情報の共有・提供をしてほしい。

【相談・情報窓口】

- 騒音等についての苦情や問い合わせのためのわかりやすい窓口は必要であると思う。ぜひ設けてほしい。
- 電話口ではわかりにくいところもある。直接担当者と話ができる窓口を設けてほしい。

周辺環境・アクセスに関すること

【周辺環境・まちづくり】

- 機能強化とともに、宿泊施設や交通インフラ、国際交流拠点等を整備するなど、周辺のまちづくりを進めてほしい。
- 羽田空港周辺の交通網の整備などによって地域の利便性が向上すれば、住民にとってメリットになるのではないかと。
- 機能強化にあわせて、地域の観光資源を積極的にPRし、活性化につなげるための方策も検討してほしい。

【空港アクセス等の整備】

- 深夜・早朝時をはじめ、羽田空港のアクセス充実に取り組んでほしい。
- 空港ターミナルやサービスの充実、24時間化を進めてほしい。

将来的な対策

【技術の進展に伴う飛行経路の見直し】

- 管制技術などを進歩させ、将来的には飛行経路を更に見直してほしい。

【滑走路の整備等による飛行経路の見直し】

- 滑走路の新設や既存滑走路の延伸、配置の見直しなどによって、将来的には更なる影響の軽減を図ってほしい。

【将来動向の見極め】

- 将来的な需要や社会動向の変化に対応できるように、継続的に検討を行い、その時々状況に応じて計画の見直しをしてほしい。
- 飛行経路の決定にあたっては、期間を定めて飛行経路の見直しを行うことを明示してほしい。
- 飛行開始後も騒音軽減に対する取り組みを引き続き行してほしい。

異なる。そうしたことをもっとPRすべきではないか。

- 高度引き上げに伴う新飛行経路の一部修正の経緯やメリット、音や高度などがどのように変わるのかについて詳細な情報がほしい。
- 新飛行経路の提案の背景について、より詳しい情報がほしい。
- 防音工事以外に個人でできる騒音対策の情報を示してほしい。
- 都心上空を飛行することのメリットをもっとアピールしてはどうか。
- より詳細がわかるような飛行経路図をHPや配布物に掲載してほしい。
- 防音工事の対象地域は、周辺の建物の状況などを踏まえ、窓開放時も考えた上で決めてほしい。
- 万が一、落下物等の事故が生じた場合の補償制度や範囲などを教えてほしい。
- 情報量が少ないので社会や生活にどんな影響があるのか判断ができない。もっと詳しい情報がほしい。
- オープンハウスは期間が限られているので、常設の情報拠点を設けるなど、いつでも見られる工夫をしてほしい。
- より広域を範囲とした新飛行経路図を示すべきではないか。
- 運行開始時期が迫っているのだから、飛行検査の予定などの詳細を早く公表してほしい。
- 教育、福祉施設などの防音対策に関する詳しい情報を教えてほしい。
- 巨米の調整が難航しているので新飛行経路の実現が難しいとの報道があったが、真偽や進捗状況を説明してほしい。
- 新飛行経路でのゴーアラウンドのルートも示してほしい。
- 騒音の被害に対する補償について詳しく教えてほしい。
- 施設整備の進捗など今後のスケジュールを明確に示してほしい。

【わかりやすさ】

- 住民にとってわかりやすい情報提供を心がけてほしい。
- 説明内容がよくわかった。理解できた。
- 騒音影響の評価指標をLden（24時間平均）にすることで、影響範囲を意図的に狭めて見せているのではないかと。
- 外国人居住者への説明も必要なので、英語の資料も作成してほしい。
- これまで検討してきた新飛行経路と今回提示した経路との違いを説明してほしい。

【表現方法の工夫（音や映像等による再現など）】

- 想定される音を体験したことで影響が判断できた。不安が解消できて良かった。
- 飛行機が欠々に飛んでくる状況やもっと経路から離れた場所での音、家屋内での聞こえ方など、実際に近い様々な状況を再現してほしい。
- 映像を見ることができるようだが、より実際の見え方に近づけてほしい。
- ヘッドホンだけでは実感がわからない。実際の音を聞いてみたいので試験飛行（テスト飛行）をしてほしい。
- 音の体感コーナーの映像を、説明会に参加した人以外も視聴できるようにしてほしい。
- 説明資料は、表現や文字の大きさに配慮し、説明会会場のパネル展示の方法や動線も見やすいように考えてほしい。
- 展示パネルを資料にしたものや飛行機の見え方がわかる映像、騒音シミュレーターのデータなどを配布したり、ネットで見られる様にほしい。
- 現飛行経路下で類似の状況を体験したいので、場所の情報を教えてください。
- ヘッドホンでは実際の音を感じるには十分ではないので、体験ブースを作ってください。
- 会場内の音が聞こえて飛行機の音がわかりにくいので、音の体感コーナーを改善してほしい。
- 音の大きさを身近な生活音で例えたり、セサナやヘリなどの音と比較して教えてください。
- 着陸時よりも離陸時の音の影響が心配なので、もっと詳しく説明してほしい。
- サウンドシミュレーターで再生される音は正確なのか。

【方策策定および運用開始以降の取り組み】

- 決定された方策の内容（飛行経路、高度、便数、騒音値など）については、引き続き情報を提供してほしい。
- 新経路での運用開始後にも住民の意見を聞く場を設けてほしい。
- オリンピック後に運航するのが情報提供してほしい。

その他

- この件についての報道量が少ないし、一部メディアに偏っているように感じる。もっと多くのメディアで取り上げるべきではないか。
- 新飛行経路についてテレビや新聞で報道される情報が不十分なので、もっと積極的にメディアに情報提供し、報道してもらうべきではないか。
- 地域説明会をメディアに公開してほしい。